

1 単元名 わたしの探求

2 単元について

本単元は、自分の身体を自らの手で育てることを大切にして、自分自身が探求したいことへ夢中になって取り組むことを目指した時間である。自分の学びに責任をもち、自分の身体とじっくりと向き合っほしいと考え、ここでは、個別で学ぶことを活動の中心としている。

「探求する」ことの意味について考えたときに、「一人ひとりの異質性を尊重した学びを実現するためにはどうするか」という問いが授業者の中に生まれた。なぜならば、一人ひとりとは違う人間であり、その価値観や人生観、運動への態度や身体能力など、同じであるということではなく、「探求したいこと」についても同様であると考えたからである。もちろん、他者からの影響を受けて、新たな興味に出会ったり探求したいことが変化したりすることはあるだろうし、学級全員に共通する活動の中から探求したいことを選ぶこともあるだろう。しかし、本当に「探求したいこと」は、一人ひとり異なるものであるはずである。だからこそ、その異質性を尊重し、自分自身が「探求したいこと」に向かう学びの場をつくる必要があるのではないかと考えた。

そこで、本単元では、まず、子どもたちのこれまでの運動経験を掘り起こし、そこから自分のやってみたい運動を選ぶことにした。その後、選んだ運動を実際にやってみることで、自分の探求したいことを定めてテーマを決め、一人ひとり教師と相談しながら、自分の課題や探求したいことに取り組むために必要な事柄や条件を検討した。

実際の活動では、子どもたちの経験から探求したいことを選び出すため、個別の学びとはいえ、ある程度方向性が一致する友達がいる、ともに活動することもあるだろう。また、違う運動に取り組んでいても、自分の経験から得てきた知を生かして友達とかかわる姿も見られるだろう。たとえ違う活動をしていても、そうして互いにつながりながら一人ひとり「わたしの探求」を尊重し合える空間をつくっていったらと考えている。教師もその関係や探求の姿をみとりながら、個の学びに寄り添い、より充実した「探求」となるようなかかわりの在り方を模索したい。

3 学習指導計画(9時間目/全12時間)

【第一次】(3時間)

○自分が探求したいことを決める。やってみて、自分の課題を見出し、今後の活動について考える。

【第二次】(9時間/本時6時間目)

4	▶ 12
自分が探求したいことに合わせて活動の見直しをもつ。見直す。修正する。	自分の活動や他者とのかかわりを通して、気づいたこと、データ、他者評価の内容を記録する。

4 本時の学習について

(1) 本時のねらい

他者への配慮を心がけながら、自分の探求したいことに夢中になって取り組む。

(2) 予想される本時の展開

主な学習活動と子どもの姿	留意点
1 前時までの活動を振り返り、自分の活動を始める(研究ノートをつけながら)。	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの発話が、どのような意味をもつか、それぞれの違いは何かを聴き取るように留意する。 子どもたちが互いの違いについて、または自分のことについて語ったことを整理する。
2 友達と自分の取り組みを見せ合い、今後の見直しをもつ。	
3 今日の活動を振り返る。	

□授業後の話し合いで話題にしたいこと

子どもの探求する学びの見とりについて。体育のカリキュラム構想について。